

参加無料

ベンチャーが切り開く 再生可能エネルギービジネスの今後

ビジネスプレゼンテーション & 展示交流会

～NEDOが支援する再生可能エネルギー分野におけるベンチャー企業の取り組み～



2009年12月11日(金) 13:00～18:00

会場：NEDO 日比谷オフィス(日比谷シティ内) 東京都千代田区内幸町2-2-3



成長分野としてますます注目を集める
再生可能エネルギー領域での技術研究の事業化促進に向けて
テクノロジーとビジネスを一挙公開!

開催のねらい NEDOでの研究開発成果を、事業化に結びつけ、産業の競争力を強化



独立行政法人
新エネルギー産業技術
総合開発機構(NEDO)
研究開発推進部
部長
中村 吉明 氏

低炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギー技術を活用した新産業の育成が重要視されています。そのような中、NEDOは、「産業競争力の強化」と「エネルギー-地球環境問題の解決」の双方を同時に実行するため、当該分野の研究開発の支援を行うとともに、更にその成果を事業化に結び付けるための取り組みを強化しております。

さて、皆様ご存知のように、NEDOで平成19年度から開始した「新エネルギーベンチャー技術革新事業」は、新エネルギーを含む再生可能エネルギー分野におけるベンチャービジネスの参入を促進し、周辺関連産業の技術力向上を目指し、ベンチャー・中小企業等の保有する潜在的技術シーズを活用した技術開発を推進するとともに、技術開発成果を事業化に結びつけるものとなっております。

今回ここに開催致しますイベントは、本新エネルギーベンチャー技術革新事業で得られた技術開発成果を生み出した中小企業やベンチャー企業の皆様の、今後の事業展開を支援するためのビジネスマッチング会です。具体的には、企業等とビジネスパートナーの出会いの場を提供するものです。ベンチャー・キャピタル、商社、事業会社等ビジネスパートナーとの事業連携等の一助になればと思ひ企画致しました。

このイベントが、皆様の出会いの場として大いに活用され、これによって再生可能エネルギーの導入普及が促進され、ひいては経済や雇用の活性化に結びつくことを期待しております。

アクセス

東京都千代田区内幸町2-2-3
HIBIYA CITY 日比谷国際ビル4F

● 都営地下鉄三田線「内幸町駅」
A6出口直結

● 東京メトロ千代田線、日比谷線、丸の内線「霞ヶ関駅」
3～5分

● 東京メトロ銀座線「虎ノ門駅」
6～7分

● JR「新橋駅」 **6～7分**



ウェブサイトのご案内

<http://www.jemco.jp/enev/>

ベンチャー各社のプロフィールなど詳細情報をチェックできます。是非アクセスください。

問い合わせ先

NEDOビジネスマッチング 運営事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座6-13-16
(株)ジェムコ日本経営 内

TEL.03-5565-4101
(電話受付時間/月～金 10:00～17:00)

FAX.03-5565-4185

E-mail : enev@jemco.co.jp
URL : <http://www.jemco.jp/enev/>

事前登録 12月9日(水)までに下欄申込書に必要事項を記入し、FAXにてお申し込み下さい。本用紙をコピーの上、ご利用下さい。

NEDOビジネスマッチング 運営事務局 宛

申込日 年 月 日

申込窓口	企業・団体名(ふりがな)		業種
	住所 〒		
	部署 / 役職	氏名	
	電話	FAX	E-mail

参加者	部署 / 役職	氏名	
	電話	FAX	E-mail
	部署 / 役職	氏名	
	電話	FAX	E-mail
	部署 / 役職	氏名	
電話	FAX	E-mail	

満員御礼

ご参加申込多数により事前申込受付を終了させていただきました。
本用紙でのお申込はできませんので、ご了承下さい。

下記の質問についてお答えください。

1. 関心のある分野は?

太陽光発電 バイオマス 燃料電池 蓄電池 未利用エネルギー

2. 本イベントは何によってお知りになりましたか?

発表ベンチャー企業からの案内 ベンチャーキャピタル協会からの案内 ジェムコからの案内 NEDOからの案内 Web検索など
その他の媒体での案内(媒体名:)

3. 本イベントへの参加の目的は?

ベンチャーキャピタル投資 事業会社としての連携・合併など M&Aの可能性など 再生可能エネルギー分野の動向把握
その他()

4. 興味のある発表は?(見開きのテーマ番号を参照)

NEDO講演 ビジネスプレゼンテーション&展示交流会 A B C D E F G H I ※複数回答可

5. 個別面談希望するテーマは?(見開きのテーマ番号を参照)

希望しない A B C D E F G H I ※複数回答可

<個人情報の取り扱いについて>
ご記入いただいた個人情報については、(株)ジェムコ日本経営が責任を持って管理し、第三者へ開示することはありません。あらかじめ同意いただいた方に対して、申込いただいたサービスの提供のために使用する他に、主催する各種セミナー、アンケートのご案内などをアンケート調査票やメールマガジン、ダイレクトメールなどをご案内することがあります。ご案内を希望されない場合は□にチェックマークをご記入ください。 □ 同意しない

FAX送信先 FAX. 03-5565-4185

開催概要

名称：ベンチャーが切り開く再生可能エネルギービジネスの今後
 ビジネスプレゼンテーション&展示交流会
 副題：NEDOが支援する再生可能エネルギー分野におけるベンチャー企業の取り組み
 会期：2009年12月11日(金) 13:00~18:00
 会場：NEDO日比谷オフィス(日比谷シティ 4F)
 東京都千代田区内幸町2-2-3
 主催：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
 株式会社ジェムコ日本経営
 入場料：無料
 事務局：NEDOビジネスマッチング運営事務局
 東京都中央区銀座6-13-16 (株)ジェムコ日本経営内
 Phone:03-5565-4101 / Fax:03-5565-4185
 URL <http://www.jemco.jp/enev/>

※本イベントは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より「新エネルギーベンチャー技術革新事業における技術開発成果の事業化支援」の業務委託を受けて株式会社ジェムコ日本経営が実施するものです。

ご参加いただきたい方

新エネルギーを含む再生可能エネルギー分野で期待される有望ベンチャー企業のビジネス展開に向けての具体的な投資支援、連携展開の可能性を模索する場として、以下の企業・団体のご担当者様のご参加をお待ちしております。



【対象領域】

太陽光発電、バイオマス、燃料電池、蓄電池、未利用エネルギーの各分野で既にビジネス展開している、もしくは今後新規に取組みを検討しているご担当者様

【参加目的】

投資およびビジネス連携の可能性を具体的に模索しているご担当者様。
 ・アーリーステージへの投資の可能性模索
 ・事業会社として新規事業としての連携の可能性模索
 ・事業会社としての技術開発段階でのオープンイノベーションによる共同開発の可能性模索

【業種・部署】

ベンチャーキャピタルの再生可能エネルギー関連のご担当者様
 ・メーカー・商社など事業会社で再生可能エネルギー分野でベンチャー企業との連携を模索しているご担当者様
 ※上記目的に該当しない申込み登録は、参加をご遠慮いただく場合がありますので予めご了承ください。

プログラム

開催挨拶

13:00~13:15 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
 研究開発推進部 部長 中村 吉明 氏

NEDO講演

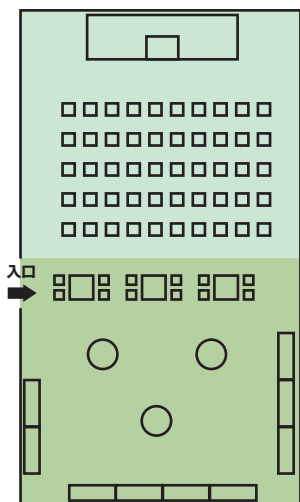
再生可能エネルギー導入普及に向けたNEDOの技術開発
 13:15~13:45 講師：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
 新エネルギー技術開発部 統括主幹 徳岡 麻比古 氏

ビジネスプレゼンテーション&展示会

ベンチャー企業による最新技術と事業展開の紹介

- 13:45~15:15 技術と事業展開についてのビジネスプレゼンテーション
 A~E テーマの5件(右ページ参照)
- 15:15~15:45 展示交流会
- 15:45~17:00 技術と事業展開についてのビジネスプレゼンテーション
 F~I テーマの4件(右ページ参照)
- 17:00~18:00 展示交流会

プレゼンテーションスペース



展示スペース

再生可能エネルギーの最先端情報を掴む絶好のチャンスです!

ビジネスプレゼンテーション&展示会 ベンチャー企業による最新技術と事業展開の紹介

前半 13:45~15:15 ビジネスプレゼンテーション

A 株式会社ポリチオン



リチウム電池の2~5倍 高容量化を実現する正極材料の開発

リチウム電池は、高エネルギー・高容量電池として期待されています。しかし、リチウム電池には正極材の容量向上という課題があります。既存のリチウム電池は負極に比べ正極の蓄電容量が低く、電池自体の高容量化に限界があります。弊社では高容量リチウム電池の実現化のため、軽元素で構成される新有機硫黄ポリマーを開発しております。このポリマーは、正極あたりで既存リチウム電池の約2~5倍の高容量化が期待できます。

B マイクロ波環境化学株式会社



マイクロ波化学を利用したバイオディーゼルの製造プロセスの事業化

当社は、マイクロ波化学法で廃油からバイオディーゼル燃料を作る技術を開発し、低コスト・高効率・小型の化学プロセスの開発に成功した。従来は技術的に困難であった未利用資源(非食用油等)からバイオディーゼル燃料や化学品の原料、香料成分を始めとした有用物質を生産することを可能とする。

C 吸着技術工業株式会社



低圧・低温の吸蔵容器を利用した高効率メタンの貯蔵・輸送

メタンを主成分とするバイオガスの有効利用に関し、弊社で実用化した圧カスイング式メタン精製装置(PSA-メタン)を使用し、当該研究で、精製したメタンの低温・低圧貯蔵による省スペース、大容量のメタン貯蔵・輸送の実現の目処がつつつあります。この後、バイオマス市場での広範な需要が見込める世界初の低温・低圧メタン吸蔵容器【①活性炭系②吸蔵圧力1MPa未満で80m³N/m³のメタン貯蔵】の製造・販売に展開する予定です。

D 独立行政法人産業技術総合研究所



高温の未利用廃熱を電力変換する酸化熱電モジュールの開発・製造

深刻なエネルギー・環境問題の解決に貢献するため、自動車、工場、廃棄物焼却炉等から日々莫大に排出されている廃熱の有効利用を可能にする熱発電システムを開発した。特に1000℃以下の廃熱を電気に変換する酸化物材料を用いた熱発電システムを世界で初めて製品化した。ビジネスプレゼンテーションでは酸化熱電発電システムの製造及び性能について説明する。

E ウエダ産業株式会社



間伐材の建設機装着型 回収装置の開発

間伐材、倒木及び竹等の林産バイオマスの回収は人力作業で危険作業が多く手間が掛かり、放置されたまま有効活用が遅れている。汎用建設機械であるパワーショベルに搭載している油圧源を利用した回収・チップ破砕用アタッチメントにより現場でチップ状に加工して回収し、ペレット燃料製造、バイオマス発電、バイオマスエタノール抽出等の材料供給を低コストで実施するシステムを開発するものである。

後半 15:45~17:00 ビジネスプレゼンテーション

F 地熱技術開発株式会社



温泉の熱を利用した発電による電力供給事業

日本国内の多数の高温温泉では、浴用利用できない50℃以上の熱エネルギーの多くが未利用のまま河川等に放流されており、そのエネルギーは、全国の既存の温泉だけで72.3万kWの発電可能な熱量があると評価されています。本設備は、70~120℃の温泉水を浴用利用温度50℃まで下げる間の温度差エネルギーを回収して、二酸化炭素排出量の少ない50kW程度の発電を行い、50℃まで冷ました温泉水を浴用に供給できる発電システムです。

G 株式会社カンタム14



太陽電池用 低コストシリコン結晶スライシング装置の実現

今後毎年30%以上の成長が見込まれている太陽電池市場において、変換効率の高さとその実績で、結晶シリコン太陽電池の優位性はまだまだ継続するが、コストの50%近くを占める結晶シリコンウエハーのコスト低減は喫緊の課題である。弊社では、従来のワイヤーソー方式とは異なる電気化学的なスライス手段を用いることにより、ウエハーの極薄化、低カーボロス化、高歩留まり化を実現した。

H 株式会社ケミックス 国立大学法人群馬大学



新規構造体による電子制御不要な小型燃料電池システムの開発

群馬大学において特許申請中の多孔質板を利用したダイレクトメタノール方式の燃料電池を用い特殊環境下で使用可能な水質管理装置の燃料電池電源として20WクラスのDMFC発電システムを製作し、装置の駆動用電源として水質管理会社にOEM供給する。その中でフィールド基礎データを取得し、次期商品の課題を抽出し、その貴重なデータを踏まえ、新たな市場への商品作りを行い次への市場展開を計画する。

I サンケアフューエルズ株式会社



バイオ航空機燃料の生産技術の確立

2012年からEU圏より発着する全ての航空機に対して温室効果ガス排出枠の規制が予定されています。CO2削減方法として航空業界で注目をされているバイオ航空機燃料。現在主流となっているのは、海外生産原料に米国技術での精製です。弊社は、国産原料を用いて国産技術でのバイオ航空機燃料が供給できないかという課題に取り組んでいます。ビジネスプレゼンテーションでは、現在研究開発を行っているバイオ航空機燃料の生産技術の開発状況および事業化プランについて紹介を行います。

NEDO講演

再生可能エネルギー導入普及に向けたNEDOの技術開発



講師：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
 新エネルギー技術開発部 統括主幹 徳岡 麻比古 氏

低炭素社会への円滑な移行を実現するため、再生可能エネルギー技術を活用した新産業の育成が重要です。

我が国の新エネルギーを含む再生可能エネルギーの導入普及の現状をご説明し、現在NEDOが取り組んでいる技術開発を示します。また、新エネルギーベンチャー技術革新事業において、ベンチャー・中小企業が取り組む技術開発内容が、NEDOの示す技術開発の中で、どのような位置づけにあるのか等、第2部のプレゼンテーション案件を例にあげながら、NEDOにおけるベンチャー・中小企業の市場化推進に向けた取り組みをご紹介します。